

Secure Cloud and Virtual Reality

2020年9月期
1Q決算補足資料



2020年2月12日

株式会社ピー・ビーシステムズ

(証券コード : 4447)

業績ハイライト

(百万円)

	2019/9		2020/9		前年同期比		対 通期予想 進捗率
	1Q ※	構成比	1Q	構成比	増減	伸び率	
売上高	376	100.0%	510	100.0%	134	35.7%	23.7%
売上総利益	113	30.1%	157	30.8%	43	38.6%	
販売費及び 一般管理費	95	25.3%	102	20.0%	6	7.1%	
営業利益	18	4.8%	55	10.8%	37	203.6%	31.5%
経常利益	16	4.4%	55	10.8%	38	235.8%	32.5%
四半期純利益	14	4.0%	46	9.1%	31	213.0%	34.0%

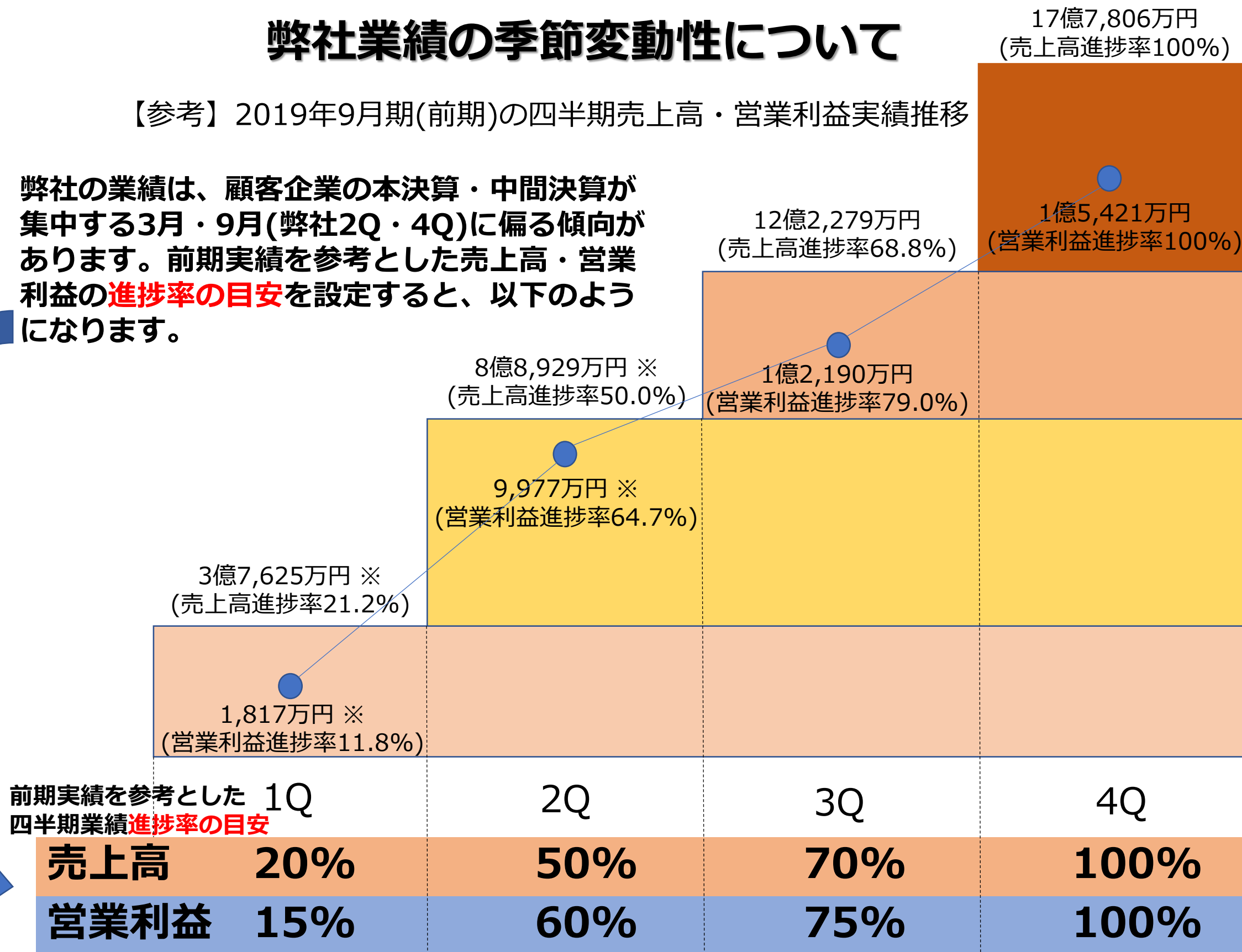
※当社は前年（2019年9月期第1四半期）における個別の経営成績を開示しておりませんが、参考として前年同四半期の個別の経営成績を記載しております。

- ・ 前年同期比で売上高(**35.7%増**)、営業利益(**203.6%増**)となり、水準が大幅に向上しています。
- ・ 売上高営業利益率が**10.8%**となり、10%を上回っていることで、生産性向上が見て取れます。
- ・ 通期業績予想に対する売上高進捗率、営業利益進捗率も「前期実績を参考とした四半期業績進捗率の目安」を上回って推移しています。（次ページにて説明）

弊社業績の季節変動性について

【参考】 2019年9月期(前期)の四半期売上高・営業利益実績推移

弊社の業績は、顧客企業の本決算・中間決算が集中する3月・9月(弊社2Q・4Q)に偏る傾向があります。前期実績を参考とした売上高・営業利益の**進捗率の目安**を設定すると、以下のようになります。



※当社は前年（2019年9月期第1四半期及び2019年9月期第2四半期）における個別の経営成績を開示して
おりませんでした。参考として前年同四半期の個別の経営成績を記載しております。

2020年9月期 1Q状況

21億5,000万円
(売上高進捗率100%)

1億7,500万円
(営業利益進捗率100%)

通期業績予想

開示済みの通期業績予想に対する売上高進捗率、営業利益進捗率は前ページの「前期実績を参考とした四半期業績進捗率の目安」を上回って推移しています。

5億1,040万円
(売上高進捗率23.7%)

5,518万円
(営業利益進捗率31.5%)

前期実績を参考とした
四半期業績進捗率の目安

1Q

2Q

3Q

4Q

売上高 **20%**

50%

70%

100%

営業利益 **15%**

60%

75%

100%

2020年9月期 1Q業績（セグメント別）

セキュアクラウドシステム事業

- ・ 大口パートナー及びSaaS事業者向けのクラウド構築需要が拡大
- ・ 優良顧客のクラウド構築と国立大学の情報基盤構築による売上増 他

(百万円)

		2019/9 1Q※	2020/9 1Q	前年同期比	
				増減	伸び率
セキュアクラウド システム事業	売上高	345	484	139	40.5%
	セグメント損益	71	113	41	58.4%

※当社は前年（2019年9月期第1四半期）における個別の経営成績を開示しておりませんが、参考として前年同四半期の個別の経営成績を記載しております。

エモーショナルシステム事業

- ・ 4D王 本体販売
- ・ イベント向けのレンタル売上
- ・ コンテンツ利用料売上 他

(百万円)

		2019/9 1Q※	2020/9 1Q	前年同期比	
				増減	伸び率
エモーショナル システム事業	売上高	31	25	△ 5	—
	セグメント損益	△ 3	△ 0	2	—

※当社は前年（2019年9月期第1四半期）における個別の経営成績を開示しておりませんが、参考として前年同四半期の個別の経営成績を記載しております。

2020年9月期 1Q受注残と生産力強化状況

受注残

(百万円)

	2019/9 4Q	2020/9 1Q	前期末差	2019/9 1Q ※	前年同期差	前年同期比
セキュアクラウドシステム事業	574	784	+209	466	+318	168.3%
エモーショナルシステム事業	0	10	+10	67	-56	15.9%
合計	574	795	+220	533	+261	149.0%

セキュアクラウド事業は、SaaS事業者のクラウド基盤拡張需要のキャッチアップや地場大手企業の新規開拓が、大型受注につながっています。
また、大手通信事業者との協業による自治体案件の受注などもあり、受注残増加に寄与しています。

エモーショナルシステム事業は、4D王導入済施設向けのオリジナルコンテンツ制作の受注といった新しい展開があります。

※当社は前年（2019年9月期第1四半期）における個別の経営成績を開示しておりませんが、参考として前年同四半期の個別の経営成績を記載しております。

生産力強化状況

(二)

	今期参画技術者数	地元近郊からの参画者数	Uターン・Iターンでの参画者
リファラル採用	2(1)	2	0
求人媒体等からの採用	2(2)	1	1
合計	4(3)	3	1

※()内人数は内定者数(2Q入社)

※名古屋からのIターン

成長戦略（セキュアクラウドシステム事業）

- ・ 従来の働き方改革に加えて、昨今のパンデミック対策に端を発するリモートワーク需要増加へのキャッチアップ
- ・ クラウド障害に対応する、クラウド・クラウド間、クラウド・オンプレミス間のバックアップソリューション需要へのキャッチアップ
- ・ 急増する「2025年の崖～DX」に向けた基幹システムクラウド化の全国的な引き合いへの受注体制拡充
- ・ SaaS事業者、優良中堅企業の旺盛なクラウド基盤拡張需要へのキャッチアップ
- ・ 顧客事例をベースとした各種クラウドソリューションのモデル化と横展開
- ・ 有力同業パートナーとのアライアンス強化
- ・ 引き続き、新規参画技術者確保への投資

等々

成長戦略（エモーショナルシステム事業）

- ・ i4DOHの早期投入に向けた検証実験の加速（防災対策他、多様な市場の開拓）
 - ・ 4D王販売代理店数の増加
 - ・ 各施設向けのオリジナルコンテンツ制作の受託
 - ・ キラーコンテンツの制作&アライアンス
- 等々

免責事項

本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」（forward-looking statements）を含みます。

これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招来し得る不確実性を含んでおります。

それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正をおこなう義務を負うものではありません。

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記載は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

本資料の作成に当たり、当社は当社が入手可能な情報の正確性や完全性に依拠し、前提としていますが、その正確性あるいは完全性について、当社は何ら表明及び保証するものではありません。

また、発表日現在の将来に関する前提や見通し、計画に基づく予想が含まれている場合がありますが、これらの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社として、その達成を約束するものではありません。

当該予想と実際の業績の間には、経済状況の変化や顧客のニーズ及びユーザーの嗜好の変化、他社との競合、法規制の変更等、今後のさまざまな要因によって、大きく差異が発生する可能性があります。

また、本資料発表以降、新しい情報や将来の出来事等があった場合において、当社は本資料に含まれる将来に関するいかなる情報についても、更新又は改訂を行う義務を負うものではありません。

本資料に関するお問い合わせ先

〒812-0007 福岡市博多区東比恵3-3-24
株式会社ピー・ビーシステムズ
経営企画部 I R 担当
TEL 092-481-5669
MAIL ir@pbsystems.co.jp
URL <https://www.pbsystems.co.jp>